

## 平成 25 年度 『復興事業マネジメントに関する講演会』 開催報告

1. 主 催 : 土木学会 建設マネジメント委員会
2. 日 時 : 平成 25 年 12 月 10 日 (火) 13 : 00 ~ 17 : 00
3. 場 所 : 土木学会 2階 講堂
4. 参加者 : 111名 (正会員89名・一般21名・学生会員1名)
5. プログラム :

| ～司会進行～                 |                              | 建設マネジメント委員会 幹事長 | 松本直也                                   |
|------------------------|------------------------------|-----------------|--|
| 1. 主催者挨拶               | 建設マネジメント委員会 委員長              | 小澤一雅            | 13 : 00 ~ 13 : 05                      |
| 2. 事例発表                |                              |                 |  |
| (1) 震災復興事業の現状について      | 復興庁 参事官                      | 水谷 誠            | 13 : 05 ~ 13 : 35                      |
| (2) 三陸沿岸道路事業監理業務について   | 東北地方整備局 企画部 技術調整管理官          | 加藤信行            | 13 : 35 ~ 14 : 05                      |
| (3) CMを活用した震災復興事業の取り組み | 都市再生機構 技術調査室担当部長             | 渡部英二            | 14 : 05 ~ 14 : 35                      |
| (4) 仙台湾南部海岸事業監理業務について  | 日本工営 仙台支店震災復興室 室長代理<br>(休憩)  | 橋場克泰            | 14 : 35 ~ 15 : 05<br>15 : 05 ~ 15 : 25 |
| (5) 釜石市復興事業CMについて      | 建設技術研究所 東北復興推進センター釜石復興推進事務所長 | 伊藤義之            | 15 : 25 ~ 15 : 55                      |
| (6) 除染の現状について          | 環境省 水・大気環境局 除染チーム 次長         | 元永 秀            | 15 : 55 ~ 16 : 25                      |
| (7) 除染業務における現場管理について   | 大成建設 東北支店復興プロジェクト部 部長        | 山上正敏            | 16 : 25 ~ 16 : 55                      |
| 3. 閉会挨拶                | 建設マネジメント委員会 副委員長             | 田村 哲            | 16 : 55 ~ 17 : 00                      |

6. 講演内容 : 震災より2年半以上が経過し復興事業が本格的してきたことを受け、復興事業の現状や今後の見通しについて、事業に携わっている関係者より講演をいただいた。当日は、事例発表者を含め約120名の参加を得て、7件の事例発表をいただき、復興事業マネジメントについて理解を深めるとともに、今後の復興事業について活発な議論を行なうことができた。



会場の様子



アンケート集計(復興事業マネジメントに関する講演会(平成25年12月10日(土木学会)))

■アンケート回答者 45名

■講演会の内容についてお伺いします。

Q1.講演会の全体の時間はいかがでしたか？

|    | 1     | 2     | 3    | 合計 |
|----|-------|-------|------|----|
|    | 長い    | 普通    | 短い   |    |
| 人数 | 5     | 36    | 4    | 45 |
| %  | 11.1% | 80.0% | 8.9% |    |

Q2.事例発表の件数(7件)はいかがでしたか？

|    | 1     | 2     | 3    | 合計 |
|----|-------|-------|------|----|
|    | 多い    | 普通    | 少ない  |    |
| 人数 | 18    | 27    | 0    | 45 |
| %  | 40.0% | 60.0% | 0.0% |    |

Q3.事例発表の内容は満足なものでしたか？

|    | 1     | 2     | 3     | 4    | 合計 |
|----|-------|-------|-------|------|----|
|    | 非常に満足 | やや満足  | やや不満  | 不満   |    |
| 人数 | 12    | 26    | 5     | 0    | 43 |
| %  | 26.7% | 57.8% | 11.1% | 0.0% |    |

\* 未回答があるため43件となっている

Q4.復興関連で今回の事例以外に、取り扱ってほしい内容等がございましたら教えてください

- ・失敗事例や手戻り(建設会社54歳)
- ・新しい発注方式による事例の問題点、課題等(建設会社60歳)
- ・CM業者の業務遂行における課題、現状の異状(コンサルタント49歳)
- ・復興まちづくり、除染+復興まちづくり(コンサルタント55歳)
- ・最も画期的なCMである、URまちづくりの進行状況、課題のレポート(建設会社64歳)  
(契約変更、オープンブックの実態など)
- ・施工に入ると、そこにおけるマネジメント課題とその解決があると思うので、この発表をお願いしたい。  
(コンサルタント60歳)
- ・福島原発関係(除染、中間貯蔵、仮設焼却炉、廃炉、凍土壁など)(建設会社40歳)
- ・除染とまちづくりは、毎年報告してほしい(建設会社48歳)
- ・まちづくり計画作成と住民合意の事例(設計事務所49歳)
- ・1つの発表時間をもう少し長くして頂き、課題や問題点を多く伝えてほしい(特例民法法人52歳)
- ・復興関連工事(国の行政機関48歳)
- ・今後進んでいくにつれて①産業振興、雇用の確保 ②住民、被災者、NPOなどを巻き込んで  
③PPPの事後評価 など(建設会社61歳)
- ・除染の現状について、除染業務における現場管理について半日程度の講義(県の行政機関45歳)

■講演会の開催についてお伺いします。

Q5.あなたは、この講演会の開催を何によってお知りになりましたか？

|   | 項目              | 人数 | %     |
|---|-----------------|----|-------|
| 1 | 学会のホームページ       | 16 | 35.6% |
| 2 | 学会からの案内(メールを含む) | 8  | 17.8% |
| 3 | その他機関からの案内      | 4  | 8.9%  |
| 4 | 所属機関内での情報伝達     | 8  | 17.8% |
| 5 | 知人等からの紹介        | 9  | 20.0% |
| 6 | その他             | 0  | 0.0%  |
|   | 合計              | 45 |       |

Q6.今後もこのような講演会が開催されれば、参加したいと思われますか？

|   | 項目  | 人数 | %     |
|---|-----|----|-------|
| 1 | はい  | 44 | 97.8% |
| 2 | いいえ | 0  | 0.0%  |
|   | 未回答 | 1  | 2.2%  |
|   | 合計  | 45 |       |

■ご自身についてお伺いします。

Q7.年齢を教えてください。

| 年齢     | (5歳ラウンド) |       | (10歳ラウンド) |       |
|--------|----------|-------|-----------|-------|
|        | 人数       | %     | 人数        | %     |
| 20～24歳 | 1        | 2.3%  | 2         | 4.5%  |
| 25～29歳 | 1        | 2.3%  |           |       |
| 30～34歳 | 0        | 0.0%  | 2         | 4.5%  |
| 35～39歳 | 2        | 4.5%  |           |       |
| 40～44歳 | 6        | 13.6% | 12        | 27.3% |
| 45～49歳 | 6        | 13.6% |           |       |
| 50～54歳 | 11       | 25.0% | 20        | 45.5% |
| 55～59歳 | 9        | 20.5% |           |       |
| 60～64歳 | 6        | 13.6% | 8         | 18.2% |
| 65歳以上  | 2        | 4.5%  |           |       |
| 合計     | 44       |       | 44        |       |

\* 1名未記入により44名

\* 最年少23歳学生、最年長70歳コンサルタント

Q8.職業を教えてください。

|   | 職業       | 人数 | %     |
|---|----------|----|-------|
| 1 | 大学等研究機関  | 1  | 2.3%  |
| 2 | 学生       | 1  | 2.3%  |
| 3 | 国の行政機関   | 1  | 2.3%  |
| 4 | 県の行政機関   | 1  | 2.3%  |
| 5 | 市町村の行政機関 | 0  | 0.0%  |
| 6 | 特例民法法人   | 3  | 6.8%  |
| 7 | 建設会社     | 19 | 43.2% |
| 8 | コンサルタント  | 16 | 36.4% |
| 9 | その他      | 2  | 4.5%  |
|   | 合計       | 44 |       |

\* 1名未記入により44名

\* その他2名については、ITベンダー及び設計事務所

■その他、ご意見、ご要望等がございましたらお聞かせください。\* ( )内は勤務先等

- ・全体的な復興事業のマネジメントが一括で聞くことができた。(コンサルタント70歳)
- ・マネジメント関連の事業等は、縦割り説明が多いため、建設現場の中でどういう立ち位置であるか体系的に整理すべきと考える。(コンサルタント46歳)
- CM、PM、MAC等でも個別議論(たてつけば同じなのに常に別扱い)
- ・発表会の内容が盛りだくさんで表面的な話に終結している感じがした。深く掘り下げる講議會のようなものがあれば参加したい(建設会社)
- ・委員会メンバーによる比較評価などのコメントがあると分かりやすい(建設会社64歳)
- ・駆け足の内容が多かったので、テキストへの反映をしっかりと頂けるとあとから追いやさうと思ひました。システムで活用できる所で助力したいと思ひました(ITベンダー38歳)
- ・長い休憩1回よりも短い休憩2回の方が時間管理、頭のリフレッシュに良いのではないでしようか？(建設会社53歳)
- ・発表時間〇〇分、質疑応答〇〇分とあらかじめ示してほしい。配布資料に文字のみえないところがある。文字化けや元図がカラーであるため識別不可能。(建設会社40歳)
- ・意見交換会(パネルディスカッション)等も企画して頂けると幸いです。(特例民法法人52歳)
- ・後半の発表の方は、PPTの見せ方をもう少し工夫して頂けると見やすうと思ひます。(国の行政機関48歳)
- ・ぜひ仙台(東北)で開催されたい(建設会社61歳)